

【農林水産省生産局長賞】

団体名        のら工房農直部会  
代表者        部会長 小林勇  
所在地        和歌山県

〔表彰のポイント〕

ＪＡ農直部会として4店舗を経営、それを基盤に市内全小学校に地場産米の供給

〔取組の概要〕

○売上額年間5億円

ＪＡわかやまは平成8年にのら工房1号店を開業し、現在、4店舗が営業している。新鮮で安心できる農産物の供給拠点として年間売上額5億円を越え利用者は44万人以上となり、のら工房向け生産者も増し地域農業への貢献も大きい。

○ＰＯＳシステムを導入し事務の軽減、店舗間の商品の調整とともに出荷者が販売状況を電話で確認できるシステムを整備、品物の補充がすぐに可能であり売上げの増加につながっている。

○学校給食への食材の提供

平成16年度から、和歌山市内の全小学校（52校、20,541人）に市内産の米「キヌヒカリ」を供給するとともに、モデル校として2校で地場産の野菜や果物を使った給食を実施している。学校への食材供給により、学校での食育推進への波及と地域農業への理解促進が図られている。

○旬の野菜を使った料理講習会

地元の農産物を広く知ってもらうため、商工まつりに専用ブースを設け、消費者へのＰＲを行っている。またＪＡ女性部会が開催する「あじわいフェスタ」では、のら工房農直部会の女性達が考案した旬の野菜を活用した料理発表会にも参加、普及性のある料理については料理レシピで情報提供している。

